作成日: 2026 年 9月 17日

入院し前立腺がんに対する重粒子線治療を受けた方へ

量子科学技術研究開発機構 QST 病院看護部では、以下の研究を実施しています。この研究の詳細について詳しくお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく個人情報の開示・利用停止等の手続きを希望される場合には、下欄の問い合わせ窓口までお問い合わせください。

【研究の名称】前立腺がん患者における重粒子線治療期間中の客観的頻尿症状の詳細な変化と治療前検査に与える影響		
①	試料・情報の利用目的及び利用方法	●研究の目的 この研究では、以下 2 点について明らかにすることを目的としています。 １．前立腺がん患者の重粒子線治療期間中に出現する頻尿症状のリスク因子およびリスク因子による症状出現時期の差。 ２．前立腺がん患者の重粒子線治療期間中に出現する頻尿症状が照射前膀胱内蓄尿量測定エコー検査に及ぼす影響。 ●研究の対象 2020 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに入院し、前立腺がんに対する重粒子線治療（12 回照射）を行った方を対象といたします。 ●利用方法 QST 病院電子カルテシステムより②の情報を収集します。収集した情報は、研究責任者の管理下でパスワード管理された PC 上にパスワードをかけたファイルとして保管し、解析に用います。この研究のために新たな検査や質問を行うことはありません。
②	利用する試料・情報の項目	年齢、BMI、投薬中薬剤の種類（ホルモン剤、利尿剤、降圧剤、糖尿病薬、睡眠導入剤、安定剤、排尿障害治療薬）、前立腺容積、重粒子線治療開始前に記載していただいたアンケート（IPSS：国際前立腺症状スコア)、グリーソンスコア、採血結果（GFR，HbA1c，LDH）、スペーサー留置の有無、問診票記載の排尿回数と夜間排尿回数、治療開始月、CT シミュレーション撮影前または各照射前膀胱内蓄尿量および膀胱内蓄尿量測定エコー検査回数（CT シミュレーション撮影前 1 回分と重粒子線治療の各照射前測定 12 回分)、入院日から退院前日までの 1 日排尿回数と夜間排尿回数
③	利用を開始する予定日及び研究期間	研究機関の長の許可日～2028 年 3 月 31 日
④	利用する者の範囲	●量子科学技術研究開発機構（QST 病院看護部） 研究責任者：久保田　新

⑤	試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST 病院
⑥	研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止する旨	この研究の結果は、学会や学術雑誌で公表されます。 本研究の研究対象者に該当する可能性のある方（又はその代理人の方）で、情報を研究目的に利用されたくない場合、2025 年 6 月 30 日までに下記⑦問い合わせ窓口までご連絡下さい。申し出期限以降にお申し出いただいた場合も可能な限りデータを取り除きますが、既に個人情報と切り離され解析に使用されてしまった場合にはデータを取り除けない場合があります。その場合であっても、研究対象者の個人を特定できる情報が公表されることはありません。
⑦	研究対象者等の求めを受け付ける方法(問い合わせ窓口)	この研究全体の内容についてご質問がある場合や、ご自身の情報に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ窓口へご連絡ください。 ●量子科学技術研究開発機構 QST 病院 電話番号：043-206-3306（平日 9:00～17:00）